

社会福祉法人 やまなみ会

平成27年度 事業計画書

平成27年4月1日

障害者支援センター インターワーク

# 平成27年度事業計画書（案）

## 目次

1. はじめに
2. 施設理念
3. 基本方針及び重点項目
4. 就労事業計画
5. 施設行事計画
6. 職員研修計画

# 平成 27 年度 インターワーク 事業計画（案）

## 1. はじめに

社会福祉に関する制度が目まぐるしく変わり、制度を利用する方々にとって、不安を抱えることも多く、日々の生活をどう過ごしていけばよいのか暗中模索される方も少なくない。そのような状況で、当インターワークを利用される方々が、物理的・精神的に安心して暮らしができる環境作り目指し今年度も支援して行きたい。

## 2. 施設理念

### **1人ひとりの自立と社会参加を目指す**

インターワークは、障がいのある方が人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己表現できるよう支援することを目的とする。利用者の潜在的能力を発掘し相互信頼を基本に利用者の個性を信頼し安全で働きやすい職場環境作りに努め、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、生活介護・就労継続支援B型事業において、利用者各人1人ひとりに合ったサービス支援を提供し、社会生活及び地域生活での自立へ促していく。

又、生産活動においては革新的な生産技術や製品開発に努め顧客に喜ばれる製品を提供することを目的とする。

利用者・職員一同が一丸となり自主独立精神のもと目標に向かい邁進できるよう努める。

## 3. 基本方針及び重点項目

### 事業所の運営目標

- ① 事業計画、事業予算の計画立案を各実務担当者が行い、その執行は職員全員の協力で遂行し実りあるものとする。

- ② 事業者として、ニーズ変化への適応力を身に付ける。
- ③ 利用者及び家族等からの苦情や意見に対して適切かつ早急に対応を行う。
- ④ 経営方針を明確にし、実現に向けた戦略を立てツールを獲得する。
- ⑤ 業界内での競争力を身に付け競合に耐える。
- ⑥ 人間性豊かな人材を育成し信頼できる人間関係を築きながら仕事をすすめる。

### **利用者支援方針及び支援目標**

当事業所（生活介護・就労継続支援 B 型）において、営業日及び営業時間は、特例日数に沿う。就業時間は、8：30から17：00とする。

生活介護計画、就労継続支援 B 型計画に基づき利用者の心身の状況に応じて、その者の支援を行い、福祉サービスの提供が漫然かつ画一的なものにならないように配慮する。障害者福祉サービスに当たっては懇切丁寧を旨とし、利用者に対しわかりやすく説明を行う。

利用者の家族やグループホーム職員との連絡を密にし、利用者の毎日の心身の状況把握に努め、利用者自身が自立に向けた過ごし易い環境を提供する。

### **支援目標**

- ① 利用者の個性を尊重し、過ごし易い環境作りに努める。
- ② モニタリングやケース会議を密に行い、利用者個々のニーズに沿った支援を実施する。
- ③ 各種研修会や講習会に参加し、サービスの質の向上に努める。
- ④ 共通する目標や方向性を作り、常に推進できるように改善を図る。

### **『生活介護』（定員 6 名）**

利用者のほとんどが重度化若しくは高齢化で身体の機能低下し著しく慢性疾患などもみられ生活環境や健康維持等難しい状況ではあるが日中活動を通し日常生活機能維持や向上を目指す。又、活動を通して生きがいを見出すため生産活動や創作活動及びレクレーション等の機会を提供する。

- ・ ADL 訓練（掃除・洗濯・調理・入浴）
- ・ 療育的訓練（文字への興味や生活能力を高める）
- ・ 軽作業を中心とした訓練（作業意欲や生活向上を図る）

### **『就労継続支援 B 型』（定員 25 名）**

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の

機会、生産活動その他の活動の機会を提供する。利用者を尊重し個人に合った支援計画作成しサービスを提供する。

- ・作業班における作業内容訓練や作業手順書による作業支援
- ・個々の支援計画書に準じ能力管理、作業管理を行う
- ・変化に順応力を身につける
- ・実習や現場見学を実施する

### **利用者の健康管理**

利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努める。利用者の健康管理には年1回健康診断を実施し日頃の健康管理に努める。

### **緊急時における対応方法及び非常災害対策**

緊急時における対応として利用者に病状の急変が生じた場合はその他必要な場合は速やかに医療機関への連絡を行う等の必要を講じる又は非常災害対策について消火設備その他非常災害に際して必要な設備を設けると共に、非常災害に関する具体的な計画を立て、非常時に備え関係機関への通報及び連絡体制を整備し従業者に周知する。非常時災害に備え定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施する。消防訓練は年1回とする。

( \* 別紙防災計画参照 )

### **情報開示**

法人経営と透明性と福祉サービス事業公開の為、ホームページ及び掲示板による情報開示を行う。

### **個人情報保護**

当事業所で知り得た個人情報はサービスの利用目的の範囲内で行い、その範囲を超えて使用しない。又、業務を遂行するに当たり、個人情報を第三者に提供する必要がある場合は原則として本人の同意を得て提供を行う。

尚、情報の管理・取り扱いについては適正かつ慎重に行う。

### **施設環境整備**

日中活動の場が安全で且つ衛生的な職場環境作りに努める。

- ① 利用者が働きやすい環境作りの為、作業スペースの確保や整理整頓がスムーズに行なえる様に収納棚の設置、利用者の私物管理の為の個人ロッカーの設置を行う。

- ② 利用者の高齢化に伴い、施設内での足場の悪い個所や壊れた手すりやドアの点検修繕を行う。

### 利用定員数の改善

サービスの種類	利用定員	主たる対象者
生活介護	6名	知的・精神・身体障害者
就労継続支援B型	25名	知的・精神・身体障害者

- ① 特別支援学校、地域の特別支援教室や地域生活支援センター・行政機関と連携を図りながら新規利用者の獲得に努める。
- ② 他の事業所からの移行希望利用者の方々も積極的に受け入れる。
- ③ 利用稼働率 **90%**を目指す。

### 地域生活への取り組み支援

地元産山村での生活において地域住民の方々とのコミュニケーションを図るため積極的に地域参加を行う。又、地域住民の方々との共生の中で地域生活でのルールも学ぶ。

- ① ボランティア活動への参加（ゴミ拾い、清掃等）
- ② 村内の行事参加（まつり、運動会、イベント）
- ③ 事業所の開放（実習の受入、施設見学）

## 4. 就労事業計画

### 作業を通しての重点活動及び作業事業における施策

当事業所では、生産事業・加工事業・珈琲事業と3つの事業に分かれ利用者のニーズや適正にあった作業を通して自立に向けた支援を行う。又、利用者自身がより良い生活を営むことができる様工賃向上をめざしていく。

### 重点目標

- ① 利用者と共通の目標を月間で作成し、共通意識や相互信頼の協調性を養う。又、掲示板の有効活用化と連絡等のPRをスムーズに行える支援を行う。
- ② 就労意識の向上を養うため訓練をタイムスケジュール化し規則正しさ、

社会通念の『時間』を支援する。

- ③ 身だしなみの支援や日常生活の習慣を習得できるよう支援する。
- ④ 5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を展開し職場内環境を整え、「ムダ・ムリ・ムラ」のない環境支援を行う。

### **利用者工賃**

生産活動に従事している利用者には生産活動に係る事業収入から必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払う。利用者の自立した日常生活又は社会生活を営むことを支援するため工賃UPに努める。

**\*平成27年度目標工賃（就労継続支援B型）16,000円（1か月平均）**

### **生産事業**

現作業での充実性を図る為利用者のニーズに合わせた支援内容を行う。商品開発や新規顧客の開拓と近隣農家や周辺地域における営業を行う。

#### **派遣実習**

近隣の農家等で農作業やそれに関わる軽作業を行う。作業者の能力、適正に応じた職務に従事にあたり、作業者のスキルアップに努める。

#### **清掃実習**

波野道の駅（有神楽苑）のトイレ清掃、ゴミの収集・分別作業等を年間を通して請負、美化の意識及び清掃の技術等、習得を図る。

#### **ブラックベリー生産**

自畑で生育から収穫までを行う。収穫後はブラックベリー関連商品に加工する。現行の商品の見直しを図りながら、加工は業者へ委託し商品化する。各販売会や委託販売店舗にて販売を行う。

#### **とうきび生産**

自畑で生育から収穫、加工を行う。収穫後は自施設にて乾燥→焙煎→パッケージングまでを行う。各販売会や委託販売店舗等にて販売を行う。

#### **農作物の栽培**

土地に応じた作物を栽培し、無人販売所及びアンテナショップや各種販売会等での販売に努める。尚試験栽培等も並行して行い、土壌改良や生産技術

の向上に努めていく。

#### **その他**

不定期ではあるが、委託作業である紐巻き（トマト畑で使用）等雨天や農閑期に左右されない作業等。納期や不良等でコストが掛からない様に作業標準書作成実施や職場環境の充実に努める。

#### **加工事業**

各利用者が作業に対してやり甲斐と責任感が持つ事により日常生活での活性化に努める。又工賃アップにより、働く喜びや楽しさを身に付け、利用者一人ひとりの特性を活かした支援を行う。

#### **製函作業**

お菓子の香梅様委託事業である菓子箱の製函作業。年間を通しての委託事業。不良率の低下や衛生面（手洗い消毒の習慣づけ・作業服の着用）の徹底を行う。又取引先とも連携しながら受注拡大を行う。

#### **梱包用結束バンド作業**

本田技研のバイク製品の梱包で使用するPPバンドの生産作業。通年作業であるが、本田技研の減・増産により作業が不安定化するので生産事業と協力しながら作業に取り組む。

#### **珈琲事業**

季節によらず、年間を通しての就労の確保と自立に向け、社会的マナーの向上を身に付ける。利用者自らが率先して知識の習得、技術的向上は基より心身の安定を図りながら利用者の更なる作業生産数の向上を目指し、工賃アップに繋げていく。

#### **ドンゴロスバック**

委託販売の安定供給を目指す為既存の仕様、材料を無駄なくフル活用し、定番商品の品質と価格を見直す。又、経費を掛けずに自然素材にこだわった材料を使用したオリジナル製品の提案・開発を行う。昨年に引き続き作業の効率化と作業工程の単純化に努め、時間のロス・材料ロス削減を進めていく。新規利用者の技術習得と既存の利用者の更なるスキルアップも行



う。

商品・材料在庫の管理と把握の徹底。販売先毎の動向を分析し、顧客の好みや要望等を取り入れた商品に的を絞って製作していく。クオリティの良いものをお客様に喜んで頂けることを目標に手作りの技術を高めることはもちろんのことインターワークブランドとしての付加価値を高める。

#### **珈琲製造・販売**

消費税の増税に伴い、商品価格の見直し（内容物・パッケージ等含む見直し）、販売方法・販路を考慮し地域性を活かした商品（阿蘇をイメージしたパッケージング）の開発・販売。観光名所での販売活動の実施（移動販売車の有効活用）。生産事業やドンゴロスバック等とお中元・お歳暮ギフト開発販売を行う。

#### **営業販売活動目標**

- ① 売れ筋商品の分析と各委託先へのリサーチを行い、売れる商品作りへ繋げる。
- ② 販売先の新規獲得を行う。（地元阿蘇の官公庁や飲食店・旅館への営業活動）
- ③ 販売会売上目標は、H26年度の1.2%アップを目標に販売を展開する。

平成27年度販売会参加予定計画

事業名	期日	場所
熊本県障スポ販売会	5月中旬	県民総合運動公園
食と健康フェア—	6月上旬	熊本市動植物園
障がい者福祉販売会	6月中旬	光の森
小国ふくしま祭り販売	8月	J A小国郷
障がい者福祉施設販売会	9月下旬	イオンモール熊本
くまもと物産フェア—販売会	11月	グランメッセ熊本
熊本県老協大会販売	1月	熊本テルサ
熊本県地域福祉推進フォーラム販売	1月	熊本県立劇場
障がい者福祉施設等展示・商談会	1月	県庁地下大会議室
障がい者福祉施設販売会	3月	イオンモール熊本
阿蘇マルシェ販売	未定	阿蘇市内

\* その他販売会の依頼があれば参加予定

## 5. 施設行事計画

月	内 容
4月	お花見・誕生日会・買物支援
5月	熊本県スポレク参加・誕生日会・買物支援
6月	消防訓練・誕生日会・買物支援
7月	七夕会・誕生日会・買物支援
8月	夏祭り参加（くんわの里・なでしこの里）・誕生日会・買物支援
9月	健康診断・誕生日会・買物支援
10月	福祉販売会見学・誕生日会・買物支援
11月	誕生日会・買物支援
12月	クリスマスパーティー・誕生日会・買物支援
1月	初詣・誕生日会・買物支援
2月	節分・誕生日会・買物支援
3月	雛祭り・誕生日会・買物支援

## 6. 職員研修計画

### 支援体制と支援の向上

各種研修会や講習会に参加し、サービスの質の向上に努める。

又、職員会議・支援会議・生産会議に3分化し、個々の目標設定や支援状況を共有し、支援実績記録や支援計画等への強化を図る。

### 参加予定研修会

対象	研修内容
管理者	全国就労センター長研修会
管理者・職員	日本セルフセンター研究大会
管理者・職員	全国社会就労センター総合研究大会
管理者・職員	九州授産施設研究大会
管理者・職員	熊本県障害者虐待防止権利擁護研修会
管理者・職員	工賃向上支援研修会
管理者	社会福祉法人労務研修会
管理者	社会福祉法人法令研修会
職員	熊本県サービス管理者研修会
職員	熊本県相談支援従事者初任者研修会
管理者・職員	社会福祉法人会計実務研修会
職員	食品管理衛生者講習

※ その他就労事業関係研修会及びセミナー等参加予定